



安富 歩:画

まだまだ終わらない公開勉強会



## 新国立競技場の暴走—官僚制と東大話法

講師：安富 歩（東京大学 東洋文化研究所 教授）

日時：2015年11月9日（月）19:00-21:00（18:30 開場）

会場：建築家会館本館 1階ホール

東京都渋谷区神宮前 2-3-18

MAP [http://www.kenchikuka-kaikan.jp/?page\\_id=15](http://www.kenchikuka-kaikan.jp/?page_id=15)

会費：1,000円（要申込）

申込：<http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>

FAX:03-5214-6663

9月24日、文部科学省の設置した新国立競技場問題の第三者委員会の整備計画経緯検証委から検証報告が発表されましたが、工費の乱高下のみに注目し、与条件の作成根拠や、国民の意見の取り入れ方などに触れず、その内容は納得の行くものではありませんでした。しかしそこでも、組織形態に問題があり、トップヘビーであった、責任あるプロジェクトマネージャーがいなかった、情報開示が足りなかった等の事が指摘されています。なぜ引き返せなかったのか？ 暴走してしまうシステム上の問題とは。

誰も止められず、引き返しも出来ない「悪の凡庸さ」無責任の体系。

今回は『満州国の金融』『原発危機と東大話法』などの著書がある安富 歩さんに、「個人より立場を守ってすべてを失った大日本帝国の運命」と新国立競技場のアナロジーや官僚的政策過程の問題点等を語っていただきます。

### 安富歩氏プロフィール

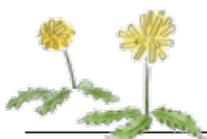
東京大学東洋文化研究所教授

『満州国の金融』で第40回日経・経済図書文化賞

『貨幣の複雑性—崩壊と生成の理論』、『生きるための経済学』、『原発危機と東大話法』、『ドラッカーと論語』

など著書多数

お申込→



主催：神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会 <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>